

じっくりと考える・見つめる時間が必要ではありませんか？

# 自社の将来を考え 見つめ直す経営!!

参加  
無料

## NHK「クローズアップ現代」にも取り上げられた “知的資産経営支援セミナー”

### ◆ 知的資産経営とは？

「技術力」「人材」「組織力」「協力先」など、『見えない資産』を「知的資産経営報告書」に整理し、ステークホルダー（社員・株主・取引先等）に『魅せる化』することで、今までとは違った視点で自社を見てもらえることになります。今までにない新しい経営手法です。

「知的資産経営」は、お客様の事業のあらゆる支援・サポートを行うための入り口であり、核になる取り組みと位置付けています。



日時：令和元年 6月17日(月) 13:30~16:30

会場：加古川市民会館 小ホール  
加古川市加古川町北在家2000

定員：200名（先着順）

申込方法：裏面のセミナー参加申込書に必要事項をご記入のうえ **FAX**  
または [但陽信用金庫ホームページ](#) からお申し込みください。

講師：近畿大学経営学部キャリア・マネジメント学科

准教授 松本 誠一 氏

#### 【講師プロフィール】

経済産業省知的資産経営報告書活用・普及研究委員、企業活力研究所 CSR 研究会委員等を歴任し、多方面で活躍。

経営コンサルティング会社、企業調査会社の調査部門、シンクタンク部門での勤務を経て、2014年4月に近畿大学経営学部准教授に就任。勤務時代の延べ5,000社以上の企業訪問経験を活かし、企業や業界の発展過程を様々な角度から研究。



共催  
お問い合わせ先

加古川市・加古川商工会議所・兵庫県よろず支援拠点  
但陽信用金庫

〒675-0064 加古川市加古川町溝之口 772 TEL079-422-7721 担当：澤野・沖

後援

高砂市・稲美町・播磨町  
高砂商工会議所・稲美町商工会・播磨町商工会

# 「知的資産経営報告書・経営レポート」作成取り組み

## ① このように多数の事業所様が「知的資産経営」に取り組みました。(平成21年～平成30年)

- ・「知的資産経営支援セミナー」参加事業所 1,132社
- ・「知的資産経営報告書・経営レポート作成」事業所 378社



## ② 今、なぜ「知的資産経営」が必要なのですか？

- ・自社の強みは何ですか？課題はどこですか？
- ・経営者の想いや考えが、従業員の皆さんに十分伝わっていますか？
- ・取引先に自社を十分にアピールできていますか？
- ・社内で自社の将来に向けての方向性が共有されていますか？
- ・事業を承継される後継者は決まっていますか？継承に向けての準備はできていますか？
- ◆ こんな課題について、じっくりと考える・見つめる時間が必要ではありませんか？
- ◆ 経営者と従業員が一体となって共有しながら課題を解決する、将来を考える必要はありませんか？

## ③ 「知的資産経営報告書・経営レポート」を作成して何があるのですか？

### ◆ 認識する！

競合他社と差別化された強み、すなわち知的資産を認識し、社内で共有します。

### ◆ 「見える化」する！

自社と既存の顧客や新規開拓先、協力企業の皆さんに自社のセールスポイントをアピールします。

### ◆ 活かす！

自社の知的資産を活かした経営を行うことで、企業としてのあるべき姿を達成します。

### 《コミュニケーション・ツール》

外部に対して自社の良さを情報発信するツールとして活用します。

### 《マネジメント・ツール》

自社の進むべき方向性を、従業員の皆さんに理解し、行動してもらうために活用します。

## ④ 「知的資産経営報告書・経営レポート」の作成に取り組まれた「事業所様の声」です。

- ・従業員のモチベーションがあがり、売上・収益の増加に結びついた。
  - ・課題が明確になり、販路拡大やビジネスマッチングなどの新たな展開が図れた。
  - ・知的資産経営に取り組むことで、後継者に“オモイ”を伝えることができた。
- など多くの反響が寄せられています。

「知的資産経営支援セミナー」参加申込書 (加古川会場)

**FAX: 079-421-3982** WEBからお申込みの方は、但陽信用金庫ホームページからお申込みください。

※ 参加人数は、一事業所複数でも申し込み可能です。

事業所名				
所在地	〒			
参加者	役職		お名前	
	役職		お名前	
	役職		お名前	
T E L			当日の緊急連絡先(携帯電話)	
E-mail	@			

※ご記入いただいた個人情報は、セミナー運営に関する連絡、各種セミナー情報提供の目的のみに使用します。